

平成 29 年度 ESD 推進ネットワークの達成目標等に照らした成果概要（暫定版）

この達成目標等は、ネットワークの成果を検討するために作成された試行段階の達成目標等であり、今後活動の進展に伴い変更される可能性があるものだが、それぞれ平成 29 年度のデータを記載することで今後の議論に活用したい。

成果目標等			達成目標及び結果		改善のための対応
成果目標 Outcome (平成 31 年度までにネットワークが実現していたい状況)	評価指標 Indicator	データ Data	達成目標	平成 29 年結果	
1. 情報					
① ESD 活動支援センター（全国・地方）が収集、整理、蓄積、共有する情報が ESD を深めるために（質的向上）、また広めるために（量的拡大）、有用なものになっている。	利用者にとって情報は役立っているか。	① 地域 ESD 拠点年次アンケート（問 III 1）	年次アンケート問 III 1（ESD 活動支援センター（全国・地方）が提供する情報は地域 ESD 拠点として役にたった）への 5 段階評価上位 2 項目への回答が 3 分の 2 程度以上である。	上位 2 項目 ① とてもそう思う ② そう思う 15 件/27 件	登録後まもないため判断できないとの意見がある。ベースラインとして今後の参考にすることも考えられる。
同上	同上	② ESD 活動支援センター（全国・地方）ウェブサイトからの発信情報の件数	ESD 活動支援センター（全国・地方）からの発信情報の件数が一定数以上ある。	<u>全国センター発信件数</u> 351 件 <u>地方 ESD 活動支援センター発信件数合計</u> 534 件	
同上	同上	③ ESD 活動支援センター（全国・地方）ウェブサイトへのアクセス数	ESD 活動支援センター（全国・地方）ウェブサイト等へアクセスが一定数以上ある。	<u>全国センターウェブサイトアクセス数（年度末）</u> ・トップページのみ 11,299 件 ・すべてのページ合計 45,160 件 <u>地方 ESD 活動支援センターウェブサイトアクセス総数（年度末）</u> ・トップページのみ 16,718 件	今年度からは地方センターウェブサイトのすべてのページへのアクセス数（ページビュー）をカウントできるようにする。
同上	同上	④ 全国センターウェブサイト等での情報発信内容	少なくとも以下の情報がタイムリーな形でウェブサイト等を通じて幅広い ESD 関係者に発信されている。	おおむね十分に発信できたが、UNESCO から国連に提出された ESD に関する報告及び国連決議について発信で	<ul style="list-style-type: none"> ● 対象分野を拡張する。 ● 重要イベントの年間カレンダーを作成・更新し、公開する。

			<ul style="list-style-type: none"> ● ESDに関する国、国の審議会等の重要な決定 ● ESDに関する重要なイベント情報 ● ESDに関する重要な報告 	<p>きなかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成30年度から国際関係の情報発信を開始する。
同上	同上	同上	ESDに関する重要な国際情報がセンターのウェブサイト等で発信されている。	<p><u>ESDに関する重要な国際情報</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ UNESCO MGIEP の情報をフォーラムで発信、SNS で発信 ・ 英国在住ギリシア人 ESD 研究者の情報を発信 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国際社会での報告についての発信を強化する。
同上	同上	同上	国内情報の英語による国際的発信が行われている。	平成29年度は、業務として行われなかった。	平成30年度から全国センターウェブサイトの新セクションを設け対応を開始する。
2. 支援体制					
② ESD 活動支援企画運営委員会（以下「企画運営委員会」）が、総合的な ESD 活動支援方策の検討やその実現に向けた全国センターへの指導・助言を行うための体制が整備されている。	企画運営委員会で ESD 活動支援方策に関する議論が行われているか。	⑤ 企画運営委員会議事録	企画運営委員会で、ESD 推進ネットワークの効果的・効率的な活動に資する検討やその実現に向けた全国センターへの指導・助言が行われている。	全国センターへの指導・助言が行われた。ただし、ESD 推進ネットワークの基盤づくりの時期であったため ESD 推進ネットワーク全体に関する検討は、十分には行われなかった。	任期満了に伴う企画運営委員会の委嘱に際し、一層効果的な議論が進むよう、委員会構成を見直した。
③ ESD を推進する多様な主体が参画する官民協働プラットフォームとしての ESD 活動支援センター（全国・地方）の整備が進み、ESD 活動に対する支援体制が機能している。	ESD 活動支援センター（全国・地方）の活動に多様な主体が参画しているか。	⑥ ESD 活動支援センター開設に関するウェブサイトでの発信	すべての ESD 活動支援センター（全国・地方）が開設・運営されている。	2017 年 7～9 月に掛けて 8 ブロックすべてで地方センターを開設し、運営を始めた。活動レポート 2017（p4-5）で開設時期・ウェブサイトオープン時期を発信した。	
同上	同上	⑦ 全国レベルのネットワーク可視化ツールによる全国レベルの協力組織・団体の取りまとめデータ	ネットワーク可視化ツールを用いた全国レベルのネットワークについて、協力組織・団体の数とタイプ、全国センターとの連携の程度、協力組織・団体の取組の多様性等に関し、経年的な改善がみられる。	平成 29 年度データ収集後、平成 28 年度、29 年度データを比較。	

同上	同上	⑧ 平成 29 年度地域 ESD 拠点との連携形態一覧	地方レベルのネットワーク全体の可視化ツールが開発され、経年的な改善がみられる。	*現段階では平成 29 年度の基礎データのみ存在。経年的変化の分析は来年度以降に実施。	基礎データの取りまとめ方法を可視化 TF で議論し、来年度以降の経年的変化がみられるようにする。
同上	相談対応・ヒアリング等を通じて ESD 活動現場のニーズが把握され、効果的な支援が行われているか。	⑨ 相談対応・ヒアリングの件数	相談対応・ヒアリング件数が ESD 活動支援センター（全国・地方）で一定数以上ある。	全国センター相談対応・ヒアリング件数（平成 29 年度） 155 件 地方センター相談対応・ヒアリング合計件数（平成 29 年度） 408 件 *うち、北海道・東北・関東・中部・四国センターは、開設後の件数	地方センターとの役割分担をもとに、全国センターは全国対象、広域ブロックをまたがる相談、国際的なことに関する相談等に重点を置く。地方に関する問い合わせは地方センターにつなぐ。
同上	同上	⑩ 相談対応・ヒアリングの好事例	相談対応・ヒアリングを契機とする好事例があれば各センターから発信できている。	全国センターから活動レポートで発信した好事例は、朝日新聞社の賞の継続。	
同上	同上	⑪ 相談対応・ヒアリングによるニーズ把握内容	相談・ヒアリング、あるいは ESD 活動支援センター（全国・地方）への提案・要望等により各センターが関係者の具体的なニーズを把握できている。	地域 ESD 拠点へのアンケート等による要望調査を実施。	
④ 地域 ESD 活動推進拠点（以下「地域 ESD 拠点」）の創出、形成、強化が進んでいる。	学校教育、社会教育、地域、職場等での ESD 実践の支援が可能であるように地域 ESD 拠点が全国に形成されているか。	⑫ 地域 ESD 拠点リスト（広域ブロック及びセクターを表示）	地域 ESD 拠点が総数で、また基本的に各広域ブロックで、毎年増加している。	平成 29 年の実績として 27 件の登録。経年的増加については、今後データをもとに判断。	
同上	同上	同上	平成 31 年度末には、すべての都府県（北海道にあっては道南、道央、道東、道北の 4 圏域）で、少なくとも一つの地域 ESD 拠点が登録され活動している。	平成 29 年度末 15/46 都府県 3/4 圏域（北海道）	

同上	同上	同上	平成 31 年度末には、すべての広域ブロックで、以下のうち少なくとも三つのセクターを含む地域 ESD 拠点が登録されている。 ・教育関係機関・そのネットワーク ・高等教育機関・そのネットワーク ・地方自治体・行政・そのネットワーク ・公益法人／NGO／NPO ・企業およびそのネットワーク	北海道：3 セクター 東北：未登録 関東：2 セクター 中部：2 セクター 近畿：1 セクター 中国：2 セクター 四国：1 セクター 九州：5 セクター	
同上	同上	⑬ 地域 ESD 拠点年次アンケート（問 II 5、問 II 6）	年次アンケート問 II 5（地域 ESD 拠点としての課題、その改善のための提案など）及び問 II 6（地域 ESD 拠点による支援によって ESD の導入または加速につながった好事例）の自由記述により、地域 ESD 拠点の重点的活動や改善への努力の事例を取りまとめて発信できている。	・登録からの期間が短いなかでの年次アンケート実施だったこともあり、好事例の自由記述は限定的。 ・今後、示唆された好事例を精査して発信。	
3. ネットワーク形成・学び合いの場					
⑤ 多様な分野で ESD の認知度が向上し、また理解が進み、多様なステークホルダーの間で経験の共有、ESD 推進の協働・連携の関係性が形成・促進されるような学びの場が持たれている。	ESD 推進ネットワーク全国フォーラム（以下「全国フォーラム」）及びその他の学び合いの場はネットワークの形成・強化につながっているか。	⑭ 全国フォーラム及びその他の学び合いの場の参加者アンケート	ESD 活動支援センター（全国・地方）が開催する学び合いの場のアンケートにおいて、ESD に関する理解が進んだ、また、ネットワークを広めることができたとの回答が、半数を超える。	*全国フォーラムのアンケートでは、フォーラムの成果として「自分のネットワークを広げることに役立った」との回答は、回答 72 件中 19 件だった。（26%）	全国フォーラムのアンケート質問様式が、役立ったか、役立たなかったか、という聞き方でなかったため、来年度は質問形式を変更する。 地方センター主催のアンケートにおいて同様の問を可能な限り加える。
同上	ESD の認知度向上・理解の促進は進んでいるか。	⑮ 地域 ESD 拠点年次アンケート（問 III 2）	年次アンケート問 III 2（ESD 活動支援センターや地域 ESD 拠点の活動により ESD の認知度の向上や理解が進んだ）に対して 5 段階評価上位 2 項目への回答が合わせて半数を超える。	上位 2 項目 ① とてもそう思う ② そう思う 10 件／27 件	登録後まもないため判断できないとの意見がある。ベースラインとして今後の参考にすることも考えられる。

<p>⑥ 地域の様々な課題への取組や政策にESDの視点と手法が取り入れられていると同時に、多様な学びの場とそれを支える政策にESDの視点と手法が組み込まれ学びの質を高めている。</p>	<p>地域の多様なステークホルダーの間で連携や協働が進んでいるか。</p>	<p>⑩ 地域ESD拠点年次アンケート（問III 3）</p>	<p>年次アンケート問III 3（ESD活動支援センターや地域ESD拠点の活動により地域の多様なステークホルダーの間で連携や協働が進んだ）に対して5段階評価上位2項目への回答が合わせて半数を超える。</p>	<p>上位2項目 ① とてもそう思う ② そう思う 10件/27件</p>	<p>登録後まもないため判断できないとの意見がある。ベースラインとして今後の参考にすることも考えられる。</p>
<p>同上</p>	<p>同上</p>	<p>⑪ 地域ESD拠点年次アンケート（問III 4）</p>	<p>年次アンケート問III 4（ESD活動支援センターや地域ESD拠点の活動により、地域の様々な課題への取組や、教育・学びの実践に、ESDが取り入れられる例が増えた）に対して5段階評価上位2項目への回答が合わせて半数を超える。</p>	<p>上位2項目 ① とてもそう思う ② そう思う 11件/27件</p>	<p>登録後まもないため判断できないとの意見がある。ベースラインとして今後の参考にすることも考えられる。</p>
<p>同上</p>	<p>全国センターは、関連事例を把握しているか。</p>	<p>⑫ 事例</p>	<p>全国センターから事例が発信できている。</p>	<p>*地域ESD拠点年次アンケートの自由記述欄には、登録後間もないため記載が限定的。</p>	<p>地方センターとの連携等により事例を見出す。</p>
<p>4. 人材育成</p>					
<p>⑦ 既存の研修等を活用し、多様な場でESD研修が実施されている。</p>	<p>ESD研修は広がっているか。</p>	<p>⑬ 各センターによる研修企画提案・実施協力実績</p>	<p>各センターにおいて、毎年、研修企画提案・実施協力実績がリストにまとめられ、支援メニューの多様化が確認できる。</p>	<p>地域ESD拠点による研修実績あり。ただし、研修実績データは時期、内容を含め多様であり、評価には注意を要する。</p>	<p>共通フォーマットでの情報収集を検討する。</p>
<p>同上</p>	<p>同上</p>	<p>⑭ 地域ESD拠点年次アンケート（問II-7）</p>	<p>地域ESD拠点年次アンケート（問II-7）（ESDに関連する研修等（講座、インターン受入れ等を含む）の実績）の回答を集計した結果、地域ESD拠点が行う研修に、全国で一定以上の参加者がある。</p>	<p>合計339回 11,555名 *登録前の研修が含まれている。</p>	
<p>⑧ 多様な分野・セクターにESDを推進する多世代の人材が育成され、活動の場を広げている。</p>	<p>ESDを推進する人材の育成は進んでいるか。</p>	<p>⑮ 地域ESD拠点年次アンケート（問III 5）</p>	<p>年次アンケート問III 5（ESD活動支援センターや地域ESD拠点の活動によりESD実践者が増えた）に対して5段階評価上位2項目への回答が合わせて半数を超える。</p>	<p>上位2項目 ① とてもそう思う ② そう思う 11件/27件</p>	<p>登録後まもないため判断できないとの意見がある。ベースラインとして今後の参考にすることも考えられる。</p>

同上	同上	② 事例 ESD 研修の広がり を示す好事例を、 地域 ESD 拠点年次 アンケート及び地 方センターからの 情報で捕捉する。	ESD 活動支援センター（全国）か ら成果目標にふさわしい好事例が 毎年発信されている。	平成 29 年度は、全国フォー ラムで好事例を発表。	今後、好事例のより広範な 周知に向けた方策（ウェ ブ、SNS、出版物等）を検 討。
----	----	---	--	-------------------------------	--